



学校教育目標 『 気づき 考え 行動する子 』

沼津市第一校区だより【小学校版】

No.6 2025年12月12日

<http://www.numazu-szo.ed.jp/daiiti-e/>



学校評価アンケートよりよい教育活動にするために>

10月末に保護者の皆様、児童全員を対象に学校評価webアンケートを実施いたしました。アンケートの結果を、分析し、教育活動の振り返り、工夫改善につなげていきます。この結果については、ホームページに掲載するとともに、学校運営協議会の際に報告して御意見をうかがい、令和8年度の三校統合後の教育活動に生かしてまいります。

※アンケート結果詳細については、第一小ホームページ

「配付文書欄<学校評価アンケート>」
から御覧いただけます。

項目	評価	児童	保護者	前年度	前年度との差
1. 学校生活の楽しさ・充実感	児童	88%	79%	85%	+3%
2. 授業の面白さ・理解度	児童	85%	80%	82%	+3%
3. 先生との関係性	児童	85%	80%	82%	+3%
4. 友達との関係性	児童	85%	80%	82%	+3%
5. 先生の仕事の厳しさ	児童	85%	80%	82%	+3%
6. 先生の仕事の楽しさ	児童	85%	80%	82%	+3%
7. 先生の仕事の厳しさ	保護者	85%	80%	82%	+3%
8. 先生の仕事の楽しさ	保護者	85%	80%	82%	+3%
9. 先生の仕事の厳しさ	保護者	85%	80%	82%	+3%
10. 先生の仕事の楽しさ	保護者	85%	80%	82%	+3%
11. 先生の仕事の厳しさ	保護者	85%	80%	82%	+3%
12. 先生の仕事の楽しさ	保護者	85%	80%	82%	+3%
13. 先生の仕事の厳しさ	保護者	85%	80%	82%	+3%
14. 先生の仕事の楽しさ	保護者	85%	80%	82%	+3%
15. 先生の仕事の厳しさ	保護者	85%	80%	82%	+3%
16. 先生の仕事の楽しさ	保護者	85%	80%	82%	+3%
17. 先生の仕事の厳しさ	保護者	85%	80%	82%	+3%
18. 先生の仕事の楽しさ	保護者	85%	80%	82%	+3%
19. 先生の仕事の厳しさ	保護者	85%	80%	82%	+3%
20. 先生の仕事の楽しさ	保護者	85%	80%	82%	+3%

令和7年度グランドデザインに示す評価項目と学校評価アンケート結果

第一小グランドデザインに示す評価項目について、評価アンケートの結果からみたものです。

なお、肯定的な回答について「児童80%」、「保護者90%」を(児80保90)で示しています。

【魅力ある授業づくり】「授業が分かる(90%)」について、(児89保82)でした。およそ9割の児童が、授業が理解できていると回答しています。しかし、昨年度より児童・保護者ともに2ポイント減少しました。今後は、グループ学習の充実に加え、個別支援やICT活用をさらに進め、分かる授業を推進していきます。

【大志学習の推進】「人の役に立つ大人になりたい(90%)」(児90)と高く、一貫目標である「効ある人」への意識が高まっています。「将来の夢や目標を持っている(90%)」(児87)でした。キャリア教育、総合的な学習を充実させ、より実感を伴った学びとなるよう支えていきます。

【ともに高め合う集団】「友達のよさを認めることができる(90%)」(児94)で多くの子供たちが友達のよさに気付いています。人権教育の充実を図り、気付いたよさを伝え合える場づくりに努めていきます。一方、「自分にはよいところがある(85%)」(児80)と5ポイント減少しました。高学年になると、自分のよさを素直に認めることにためらいが出てくる傾向があります。授業や係活動、日常の関わりの中で認め合う場を意図的に設け、自分のよさに気付ける機会を増やしていきます。

【厳しく、温かい教職員】「先生は相談にのってくれる(90%)」(児86)と7ポイント減少しました。本年度は、単学級の学年が増え、1クラスの児童数が増加した影響と考えられます。引き続き支援員の配置や学年団での協力体制を整え、複数で見守る環境づくりに努めてまいります。「学校には信頼できる先生がいる(90%)」は(児93)今後も、児童・保護者の思いに寄り添う教育活動を進めていきます。

【困難に向かう心と体づくり】「係の仕事に進んで取り組んでいる(90%)」(児88保89)。校内のさまざまな場面で責任をもって活動する姿が見られます。オンライン放送など、新たな取り組みにも挑戦しています。「自分の体のことを知り運動する(85%)」は(児86保86)と、保護者の評価が10ポイント上昇しました。行事や体験活動とあわせて、熱中症対策など家庭と連携しながら、健康づくりを進める環境を整えていきます。

【他者との連携】「住んでいる地域に関心がある(85%)」は(児84)で、昨年度より2ポイント上昇しました。生活科・社会科・総合的な学習(校区探検・第一小の歴史)を通して地域理解を深めています。今後も学校運営協議会と連携し、地域とのつながりを高めていきます。「『効ある人』を意識して生活する(85%)」は(児79保81)でした。統合に向けて新たな目標を設定し、その定着と、具体的な行動につながるよう教育活動を進めていくことが課題です。

※保護者の評価として学校の情報発信7ポイントアップ、読書の習慣9ポイントアップ、健康管理や体力づくり10ポイントアップ、体験を重視した教育活動10ポイントアップといずれも改善が見られました。これらは、保護者や地域の皆様の御協力あつての成果です。今後も、学校として工夫・努力すべき点、そして施設面など市と相談すべき点を見極めながら、いただいた声に謙虚に耳を傾け、改善に努めてまいります。御協力いただき、ありがとうございます。